

津波対策の強化を

党愛知県議団

名古屋港の防災施設を視察



名古屋港の高潮防波堤を視察する党愛知県議団(右側)

公明党愛知県議団(鬼頭英一団長)は、高潮・津波に対する名古屋港の防災対策について聞くとともに、港

内の高潮防波堤や防潮水門などを視察した。

組み。

同港は津波が発生した場合、一番沖合の高潮防波堤が波のエネルギーを減少させ、防波堤や防潮扉で浸水を防ぐことにしている。また、同港内に設置されている堀川口防潮水門と中川口ポンプ所は、台風などによる高潮の影響で河川に海水が流れ込まないようにするため、ポンプと水門の開閉によって、川と海

県議団は、これら防災施設が建設されて約50年がたち劣化が目立っていることや、台風による大雨と高潮対策に主眼を置いてきたことから大地震による津波への対応が不十分——などの課題を聞いた。鬼頭団長らは同港の防災強化を急ぐ必要があるとして「国会議員と連携して取り組んでいく」と語った。